

## 「僕のインド見聞録」乗員OB三浦文宣さんの投稿（1）

### 僕のインド見聞録

MD 1 1 に乗務していたときインドのニューデリーを何度も訪れることになりました。当時は週 2 便しか飛んでなかったので曜日によって 4 泊か 3 泊できる実に優雅なパターンでした。

しかし大方の同僚は何故か皆インドが嫌いでしたが僕はすっかりインドの魅力に取りつかれてしまいました。4 泊もできるのでよく家内をつれていったのですが家内も 8 年ほどで 25 回は出かけました。ある時はいつもビザを申請するインド大使館から電話があり個人でなぜそんなに行くのかと問い合わせがあったほどでした。夫がパイロットで一緒に行くのだと話したらすごく納得していたそうです。

僕も家内もなぜこんなに気に入ってしまったのインドの街角で僕達が出会った人たちのことを少しお話ししたいと思います。

### 第 1 話 ターバンの話

この写真は左からアルワリア、その隣が友達のスーベラ、中央で飲みすぎてトロンとした顔をしているのがアルワリアの弟のバートルです。三人ともパンジャブ州の田舎から家族をおいてデリーに出てきてタクシーの運転手をしています。インドで最初に知り合った友達で長い付き合いになりました。

みなシーク教徒なのですがバートルだけはターバンも巻かず髭も剃っています。何故かとアルワリアに尋ねたら厳格な彼は返事につまりつらそうな顔をしていました。兄のアルワリアにはすっかり世話になっておきながら困った弟です。

シーク教の戒律で頭髮を外に出せないのでターバンを巻くのですが寝る時はコンパクトなものをするそうです。御苦労なことです。ターバンの大きさは広げると畳 1 枚分くらいありそれをたたんで帯状にして頭に巻くのですが色も豊富でその日の気分や着る物に合わせるそうです。ダークスーツに黒や赤のターバンをすると絵になるという感じです。

友達の若い夫婦と行った時、彼がターバンを買って帰りたいというのでアルワリアとスーベラに案内してもらいました。普通の住宅地で突然歩道にターバン生地の入った箱をいくつも並べているのがターバン屋？でした。買ったなら巻いてみようかという話になりアルワリアにおそろおそろ聞いたら二つ返事で、店の前の道路でスーベラと二人で作業開始。見事に出来上がりました。（これはすべてビデオに記録してあります。）しかし何か足りないのです。そうです髭がないのです。髭なしの顔にターバンは合わないのです。そこで町に付け髭を皆で買いに行きました。オモチャのあご髭でしたがこれでばっちりでした。

ホテルに帰ったらホテルスタッフも集まって来て大うけに受けました。そこにいたツアーガイドで日本語ペラペラのインド人が友達のターバン頭をじっと見て日本語で「よく巻けてますね」この言葉はしばらく僕らの間ではやりました。ターバンの巻き方もいろいろ流行があるようですが、アルワリアもスーベラも田舎の人間ですから極めて伝統的な巻きかたでそれを日本人がしているのでこのガイド氏は驚いたようです。友達はこのターバンを職場の皆に見せたいというのでそのまま帰ったのですが機内で寝られないのでついにはずしたそうです。後日わが家でビデオを見ながら巻いて差し上げました。もちろん「よく巻けていますね」でした。

